

## 患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 抗菌薬の使用実態と臨床効果の関連性についての調査研究

[研究機関] 北海道大学病院 薬剤部

[研究責任者] 井関 健 （薬剤部・部長）

[研究の目的] 病院内で使用される抗菌薬（感染症の治療に使われる薬）がどのような用法用量で使われ、また病院全体の抗菌薬の使用傾向や効果と血中濃度との関連性を調査し、今後の感染症治療に役立てることを目的とする。

[研究の方法]

### ●対象となる患者さん

平成18年4月1日から平成22年12月31日の間にアミノグリコシド系抗生物質（商品名：トブラシン注、硫酸アミカシン注射液、ゲンタシン注、硫酸ストレプトマイシン注射用など）カルバペネム系抗生物質（メロペン点滴用、メロペネム点滴静注用、オメガシン点滴用、フィニバックス点滴用、チエナム点滴静注用、イミペネム・シラスタチン点滴用、カルベニン点滴用など）、ニューキノロン系抗菌薬（シプロキサシ注、パズクロス点滴静注液、 $\beta$ -ラクタム系抗生物質（ゾシン静注用、セファメジン注射用、タイセゾリン注射用、スルタムジン静注用、スルペラゾン静注用、セフォタックス注射用、ロセフィン注射用、セフトリアキソン注射用、セフメタゾン静注用、ファーストシン注射用、フルマリン静注用、ペントシリン注射用、注射用ペニシリンGカリウム、注射用マキシピーム、モダシン静注用、モペンゾシン静注用、ユナシン-S静注用、ユナスピン静注用など）等の投与を受けた方

### ●利用するカルテ情報

入院診療科、年齢、性別、体重、診断名、血中濃度測定値（測定されていれば）、検査値（CRP（C反応性蛋白）、体温、白血球数、血清クレアチニン値）、処方および注射薬の投与履歴

**[個人情報の取り扱い]**

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**[問い合わせ先]**

〒060-8648 北海道札幌市北 14 条西 5 丁目  
北海道大学病院 薬剤部 副部長 山田 武宏  
電話 011-706-5754 FAX 011-706-7616